

# 再評価結果

担当課：有料道路課

担当課長名：上野 進一郎

事業名	関越自動車道上越線 (信濃町～上越JCT)		事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省及び東日本高速道路(株)
起終点	自：長野県上水内郡信濃町 至：新潟県上越市大字中屋敷				延長	38 km
事業概要	上信越自動車道は、中央道、北陸道とあわせて広域的なネットワークを形成することにより、上信越地方の沿線地域の産業、経済、文化、観光等の発展に重要な役割を果たすものである。					
S60年度事業化	S60年度都市計画決定	H4年度用地着手	H5年度工事着手			
全体事業費	約1,950億円	事業進捗率	74%	供用済延長	38 km	
計画交通量	9,600～10,400台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (事業全体)	総便益 (事業全体)	基準年		
	1.5	439 / 2,996億円	461 / 4,638億円	平成21年		
	(残事業) 1.1	事業費：300 / 2,507億円 維持管理費：139 / 489億円	走行時間短縮便益：460 / 4,228億円 走行経費減少便益：-12 / 212億円 交通事故減少便益：13 / 197億円			
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C = 1.2 (交通量 +10%)		B/C = 0.9 (交通量 -10%)			
事業費変動	B/C = 1.0 (事業費 +10%)		B/C = 1.1 (事業費 -10%)			
事業期間変動	B/C = 1.1 (事業期間-1年)		B/C = 1.0 (事業期間+1年)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保(当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線又は新たなバス路線が期待できる)</li> <li>国土・地域ネットワークの構築(当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する)</li> <li>災害への備え(緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) 他10項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	山岳地形や冬期間の厳しい気候、行楽シーズンの渋滞が、時間短縮や安定かつ定時輸送に大きな支障となっている。また死亡事故率が高いこともあり、4車線の早期整備を新潟県上越市長より要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成19年の平均交通量は10,200台/日であり、H17～H19年に57回の渋滞が発生している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成9年10月に信濃町～中郷間、平成11年10月に中郷～上越JCT間が暫定供用。 残事業の内容は4車線化工事。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	暫定2車線供用であるが、既に4車線分の用地取得が完了している。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は満たしており、事業実施の目途が立っている。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。